

平成25年度（第2回）原子力防災会議幹事会  
議事要旨

1. 開催要領

開催日時：平成25年12月6日（金）10：30～11：00

場 所：経済産業省本館2西3共用会議室

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

議題1 避難計画等の充実に向けた取組状況について

議題2 原子力総合防災訓練の実施結果について

3. 配布資料

資料1 地域防災計画・避難計画等の充実に向けた取組状況について

資料2 原子力総合防災訓練の実施について

参考1 地域防災計画の充実に向けた今後の対応（平成25年9月3日原子力防災会議決定）

参考2 共通課題についての対応方針（平成25年10月9日原子力防災会議連絡会議コアメンバー会議策定）

参考3 平成25年度原子力総合防災訓練実施状況

4. 会議概要

（1）議題

（議題1）

- ・金子原子力規制庁原子力防災課長から、資料1に基づき、地域防災計画・避難計画等の充実に向けた取組状況について説明。
- ・原子力防災会議開催までの避難計画策定の進捗等により、適宜、資料1に反映・修正する可能性があることを留保しつつ、資料1のとおり、原子力防災会議に報告することで決定。

（議題2）

- ・金子原子力規制庁原子力防災課長から、資料2に基づき、原子力総合防災訓練の実施について説明。
- ・資料2のとおり、原子力防災会議に報告することで決定。

（2）閉会

最後に、米村内閣危機管理監より挨拶。要旨は次のとおり。

- ・9月以降、地域防災計画のより具体的な計画づくり等について、関係省庁の皆様でチームを設置し取り組んでいただいた。

- 先ほど事務局から説明があったとおり、避難計画等が概ね具体化できている地域とそうでない地域がある。まだ具体化できていない地域についても、引き続き支援を継続していく必要がある。
- 前回の幹事会でも申し上げたが、基本的には、地域防災計画の作成は、各自治体が主体であるが、実際に緊急事態が発生した場合には、関係府省庁で取り組まなければならない課題やテーマが出てくる。
- このような課題やテーマを ToDo リストにまとめ、次に、それをどのように進めていくべきか考えることが大事。
- 地域防災計画の問題というのは、関係府省庁自らの問題であるという認識の下、御尽力いただきたいということをお願いした次第。
- 実際に、そのような形で取り組んでいただいたことを心から感謝申し上げます。引き続き、こうした認識の下で取り組んで欲しい。

(以 上)

(別 紙)

## 出席者一覧

	内閣危機管理監	米村 敏郎
議長	原子力規制庁長官	池田 克彦
副議長	環境省水・大気環境局長	小林 正明
	内閣府原子力災害対策担当室長	黒木 慶英
	内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）	高見澤 將林
(代理)	内閣官房（内政）参事官	田中 良典
(代理)	内閣官房（外政）参事官	吉田 朋之
(代理)	内閣審議官	武川 恵子
(代理)	内閣情報調査室 参事官	下田 隆文
(代理)	内閣府大臣官房審議官（防災担当）	佐々木 克樹
(代理)	内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課長	植木 隆
	警察庁警備局長	高橋 清孝
(代理)	消費者庁審議官	河津 司
(代理)	総務省大臣官房総括審議官	佐々木 敦朗
(代理)	消防庁特殊災害室長	白石 暢彦
(代理)	外務省総合外交政策局軍縮不拡散・科学部 審議官	廣瀬 行成
(代理)	財務省大臣官房審議官	西岸 正人
	文部科学省大臣官房審議官（研究開発担当）	田中 正朗
(代理)	厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室長	山口 高志
	農林水産省大臣官房技術総括審議官	別所 智博
	経済産業省大臣官房審議官（エネルギー・技術担当）	中西 宏典
	国土交通省大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官	染矢 隆一
	気象庁次長	渡邊 一洋
	海上保安庁海上保安監	鈴木 洋
(代理)	防衛省運用企画局事態対処課国民保護・災害対策室長	町田 一仁

